

い

編集発行：池田市議会
住所：大阪府
池田市城南
1丁目1番1号
郵便番号：563-8666
TEL：072-752-1111
FAX：072-753-5414
http://www.city.ikeda.
osaka.jp/

いけだ

No.182

いけだ市議会だより 令和5年(2023年)1月1日



五月山動物園にて

新年のごあいさつ	2
議長・副議長、各議員団	
委員会レポート	4
令和5年度予算編成への 提言について	6
やまばと	6



池田市議会 録画映像配信を行っています



市議会では議会改革の一環として、代表質問・一般質問の録画映像配信を行ってきましたが、令和4年3月定例会からは、さらに本会議の議案審議等の録画映像配信を開始しました。



池田市議会 映像





謹賀新年



議長

小林 義典



副議長

中田 正紀



新年あけましておめでとございます。
市民の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えになられたことと心からお慶び申し上げます。

また、平素から池田市政並びに池田市議会に対して、温かい御理解と御支援を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、我が国の経済状況は、長引くコロナ禍に加え、昨年2月のロシアのウクライナ侵攻に伴う世界的なエネルギー価格の高騰をはじめ、円安や原材料費値上げによる物価高騰など、依然として誠に厳しい状況が続いております。

このような中、本市におきましては、昨年2月に五月山動物園で飼育されているウォンバットの「ワイン」が、飼育下での最高齢を更新したとして、ギネス世界記録に認定されました。人間でいうと100歳を超える長寿であり、本市に明るい話題を振りまいてくれました。

また、9月定例会では、現第6次総合計画を改定し、計画期間を令和5年度から向こう10年間とする第7次総合計画を策定いたしました。第7次総合計画では、「笑顔あふれる豊かな暮らしを未来につなぐ みんなが大好きなまち」を標榜し、いつまでも住み続けたいと思えるまちを目指してまいります。

本年4月には私たち議員の改選を迎えますが、市議会といたしましては、今後も市民の皆様への側面を軸足を置き、議決機関としての機能を最大限に発揮してまいりたいと考えております。

市民の皆様におかれましては、市議会に対し、より一層の御支援、御協力を賜りますようお願いいたしますとともに、本年も皆様にとりまして、幸多い年となりますよう祈念いたします。新年の挨拶といたします。

公明党議員団

新春のお慶びを申し上げます。
長きにわたるコロナ禍と緊張の度を増す国際情勢など、将来の不安を増幅させる今日です。今こそ、不安を安心へ、そして誰もが希望を抱ける池田市を目指し、生活者の視点に立った施策の実現に努めてまいります。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



藤本 昌宏



多田 隆一



荒木 眞澄

日本共産党議員団

新年おめでとございます。
コロナ禍に物価高、今ほど市民の命と健康・暮らしを守る政治が求められているときはありません。ジェンダー平等の取組や気候危機解決も待たないです。暮らしに安心と希望を、市民の願いに応える市議会へ、全力で頑張ります。本年もよろしく申し上げます。



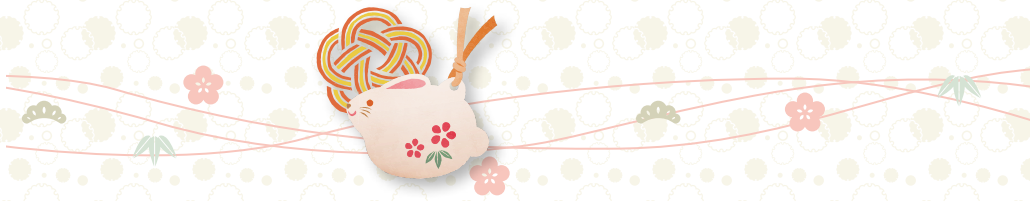
小林 吉三



山元 建



藤原美知子



新生クラブ議員団

健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

コロナと共存する日々が続きますが、池田のまちの明るい未来づくりに向けて、皆様の声をお聞きし、御協力を賜りながら、研究と研鑽を重ねてその職責を果たしてまいります。本年が皆様にとりまして実り多い1年となりますようご祈念申し上げます。



下俣 明



前田 敏



坂上 昭栄

自民同友会議員団

新年あけまして

おめでとございます。

皆様には健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

今年4月には統一地方選挙が行われます。私たちは引き続き安全で安心した市民生活を送っていただくことができるよう感染症対策、災害対策そして市民目線での行財政改革に全力で取り組んでまいりますので、なお一層の御支援・御指導をよろしくお願いいたします。



細井 馨



小林 義典



智 浜地慎一郎



西垣 智

大阪維新の会池田議員団

新年あけまして

おめでとございます。

本年も「住みよいまち池田」を目指し、皆様の声を市政に反映。挑戦。そして改革。本年もよろしくお願い致します。



安黒 善雄



三宅 正起

青風会議員団

新年あけまして

おめでとございます。

本年も青風会議員団は昨年より引き続き、「市民目線」を第一に安全安心な市政運営を目指し「コロナ感染症対策」「子育て環境の充実」「福祉の充実」「経済対策」等に取り組んでいくとともに、皆さまの声を施策に届けていく所存です。

本年が皆さまにとって、笑顔と幸せに満ちあふれた実り多き年となりますようご祈念申し上げます。



山田 正司



川西 二郎

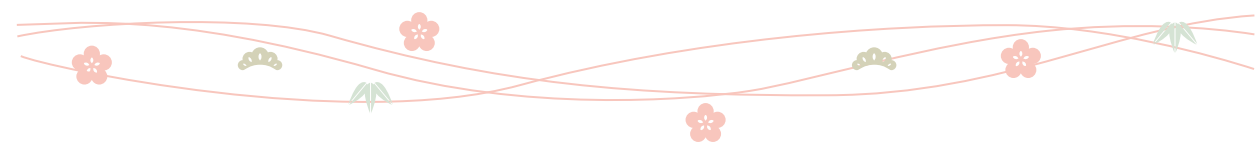


中田 正紀



守屋 大道

議員の年賀状・暑中見舞い・寄付行為は、法律で禁止されています。また、祝電・弔電についても、申し合わせにより自粛しています。市民の皆様の御理解と御協力をお願いいたします。



令和3年度各会計決算審査
 9月定例会で常任委員会に審査付託した令和3年度の各会計決算について、議会閉会中に各委員会を開催し、審査しました。
 12月2日の本会議で、各委員長が審査の結果報告を行い、それぞれ委員長報告通り認定しました。
 各委員会での審査の主な内容は、次のとおりです。

総務委員会
 10月28日開催

脱炭素社会の実現に向けた具体的な取組は
 〈一般会計〉

問 本決算において、環境基本計画推進事業として、令和3年度から令和12年度までの10年間を計画期間とする池田市環境基本計画（第3次）を策定し、様々な環境課題への取組方針を示している。その中で、地球温暖化防止については、脱炭素のまちを目指すことを明記しているが、脱炭素社会の実現に向けた具体的な取組状況について問う。

市民、事業者、行政が協働して温室効果ガス排出量のゼロへ

答 脱炭素社会の実現に向けては、令和3年度から10年間を計画期間とする池田市環境基本計画（第3次）の策定に加え、令和4年3月には池田市ゼロカーボンシティ宣言を表明したところであり、本市の豊かな自然環境を残し、健康に過ごすことのできる社会を次世代に引き継いでいくために、2050年までに温室効果ガスの実質排出量をゼロにすることを目標に掲げている。

文教病院委員会
 10月24日開催

病院の再編・統合が進む中今後の市立池田病院の在り方は
 〈病院事業特別会計〉

本目標を達成するために、市内の公共施設への市民共同発電所の設置をはじめ、市民や事業者を対象にした太陽光発電システムや家庭用省エネ機器の導入促進により、再生可能エネルギーの拡充を推進している。
 また、市民団体等による集団回収の促進や、リサイクルの推進等により、燃えるごみの減量化を推進するなど、市民、事業者、行政が協働して市内の温室効果ガス排出量の削減に取り組めるよう、各種施策を推進している。

今後、さらなる高齢化の進展に伴い、医療ニーズの増加が見込まれる中、急性期病院である市立池田病院が果たす役割は大きいものと考ええる。

現在、全国的に進められている公立病院等の再編・統合は、特に高齢者にとっては、住み慣れた地域で治療が受けられなくなる通院困難の問題など、医療機能を低下させるのではないかと危惧する。

このような中、市立池田病院は急性期病床に慢性期病床などを加えるケアミックス病院を目指すのか、または、かかりつけ医を支援し、専門外来や入院、救急医療など、地域医療の中核を担う地域医療支援病院の機能強化を目指すのか、今後の市立池田病院の在り方について見解を問う。

地域医療支援病院として地域医療の中核を担っていききたい

答 現在、川西市立総合医療センターの開院や箕面市立病院の移転新設計画など、近隣市の医療環境が大きく変化している。

このような中、今後の本院の在り方については、中長期的には、地域の急性期病院として、急性期病床数の適正化と医師など医療資源の再配分を目的とした医療機能の集約化や、新型コロナウイルス感染症など新興感染症への対応の両立を図っていききたいと考えている。

引き続き近隣病院の動向を注視しながら、本院施設の更新整備を図るとともに、地域医療支援病院として、地域医療の中核を担い、病診連携・病病連携の基幹病院の機能、役割の維持向上を図っていききたいと考えている。

タブレット端末等を使って 指導するICTスキル向上策は

〈一般会計〉

問 本市においても、GIGAスクール構想の下、教育現場にICT環境の整備が進められている。

しかし、タブレット端末などICT機器に苦手意識を持つ教員や、これまでに培った経験則に沿った指導方法とは大きく異なる対応を迫られたベテラン教員の中には、戸惑いを感じている教員も少なくないものと考ええる。

ICT化の推進においては、教員のICTスキルの向上が急がれる一方、教員の負担を考慮して、段階的に取り組む必要もあると考ええるが、見解を問う。

ICT支援員等が教員に授業の ついで方などの助言を行っている

答 指摘のとおり、ベテラン教員が培ってきた経験則に沿った指導方法は、十分意義のあるものだと認識している。

一方、GIGAスクール構想の進展に伴い、本市においても授業の在り方が大きく変化しており、この変化に順応していかなければならないと考えられている。

そのため、現在、教育現場に混乱を招くことなく、ICTが活用できるように、ICT分野に精通

した指導主事やICT支援員が教員に対し、ICTを活用する授業の環境整備だけでなく、授業のついで方などにも助言を行っており、今後も体制の整備を図っていきたいと考えている。

厚生委員会

10月18日
開催

高齢化の進展による

懸念される点及び今後の方向性は

〈後期高齢者医療事業特別会計〉

問 後期高齢者医療制度の被保険者数は、団塊の世代全員が後期高齢者になる2025年にかけて増加していく。

本市においてもますます高齢化が進む中、後期高齢者医療事業を運営していく上で懸念される点及び今後の方向性について問う。

保健事業と介護予防の一体的実施 を継続し対象範囲の拡大を図る

答 大阪府の高齢者人口は、2030年に150万人を超え、2040年には人口の約20%が後期高齢者となり、高齢化のピークを迎えることが予想されている。

このような中、運営上懸念される点については、今後、被保険者が増加することにより、医療にかかる割合が高くなり、医療費が急

増することに伴う保険料負担の増大が考えられる。

医療費の急増を防ぐためにも重症化予防に取り組むことが重要であると考えており、令和3年度においても保健事業と介護予防の一体的実施事業に取り組んできた。

また、今後の方向性については、国保部門と、より連携を密にし、対象範囲を広げた事業を展開していきたいと考えている。

保育人材確保の取組及び成果は

〈一般会計〉

問 保育士確保事業については、令和元年度より保育人材を育成するための子育て支援員研修の実施をはじめ、市内の民間保育施設で新規採用された保育士等に対する就職祝い金や、宿舍借り上げのための補助金を支給するなど、保育人材確保に努めている。

当該事業実施に伴う保育人材確保に係る取組状況及び成果並びに保育士の定着率について問う。

約40名が民間保育施設に採用

答 令和3年度の取組状況は、子育て支援員研修として保育所等で保育補助ができるようになるための地域保育コースを開講し、36名が受講した。

就職祝い金の支給者は37名で、宿舍借上げ補助金の支給者は18名であった。

特に、就職祝い金の支給者37名は全員が市内の民間保育施設に採用されており、本市の保育人材確保に向けた取組の明確な成果であると考えている。

また、保育士の定着率とは直接的な関係性はないが、本市の保育士の経験年数は年々上昇傾向で、ベテラン保育士が増加しており、保育の質の向上という観点からも非常によい傾向にあると考えている。

土木消防委員会

10月11日
開催

マンホール蓋の現状及び 安全対策は

〈公共下水道事業会計〉

問 近年、全国各地で、大型台風や線状降水帯の発生などに伴い、過去に例を見ない大雨が観測されている。

集中豪雨の際には雨水が一度に下水道管に流れ込んで、行き場を失ったり、空気の圧縮が原因でマンホール蓋の浮上や飛散の問題が指摘されているが、本市の現状と安全対策について問う。

優先順位をつけて順次交換

指摘のとおり、メディア等でマンホール蓋の安全性の問題が指摘されていることは認識している。本市においても過去には浮上や飛散の事例はあったが、発生箇所については既に浮上防止対策やバイパス管を築造するなど、安全対策を行っている。

現在のところ危険箇所は見受けられないが、降雨量や場所等の条件によっては、浮上や飛散する可能性が考えられるので、万一、浮上・飛散事象があればすぐに対応したい。

また、がたつきや摩耗、滑りやすくなっているなど、問題があるマンホール蓋を、年間100箇所程度順次交換しており、特に鍵のないものについては最優先で交換して安全対策に努めている。



令和5年度予算編成への
提言について

〈予算決算審査サイクル〉

市議会として、令和3年度決算審査の結果を踏まえ、令和5年度の予算編成に生かすため、各委員会において、次の12の提言を取りまとめ、市長に提出しました。

◆総務委員会関係

- (1) 共同利用施設等の利便性向上について
- (2) 防犯カメラの増設について
- (3) 環境行政の推進について

◆文教病院委員会関係

- (1) 特別支援教育及び就学援助等の拡充について
- (2) 学校給食費の無償化について
- (3) 市立池田病院の安定経営及び人員配置の拡充等について

◆厚生委員会関係

- (1) 健康増進等の取組に対するインセンティブ制度の導入について
- (2) 各種がん検診の無料化について
- (3) 保育士及び留守家庭児童会指導員の人員拡充並びに研修の充実について

◆土木消防委員会関係

- (1) 道路整備と道路脇側溝の点検について
- (2) 交通安全対策の推進について
- (3) 街路樹等の安全対策について



やまばと

新年明けまして
おめでとございませう

市民の皆様におかれましては、日頃より市議会への御理解と御協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、昨年の9月議会において、第7次総合計画基本構想を可決しました。

第7次総合計画では、SDGsの意識を市全体で共有し、目指すまちの将来像の実現に向けた施策を推進することが示されています。

計画期間は、令和5年度から令和14年度までの10年間です。

市議会といたしましても、未来を見据えたまちづくりを念頭に、総合計画の進捗のチェックを継続的に行い、今後の本市の発展に尽力する所存です。

本年4月には民意を問う市議会議員選挙が執行されます。

議員一同、これからも市民の皆様が開かれた議会、寄り添う議会を目指してまいります。

また、本年も市議会たよりでは、市議会の審議内容を分かりやすく、丁寧にお伝えできるよう努めてまいりますので、引き続き御愛読賜りますようお願い申し上げます。

市議会たより編集特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 西垣 智 |
| 副委員長 | 守屋 大道 |
| 委員 | 藤本 昌宏 |
| 委員 | 三宅 正起 |
| 委員 | 坂上 昭栄 |
| 委員 | 小林 吉三 |